

8-1 空港ではどんな職業の人が働いているのかな？

空港で働く人たち1

空港では安全・確実に飛行機を運航するために、様々な職員がそれぞれ専門的な仕事を行っています。実際に働く職員の仕事内容や、やりがいをご紹介します。



パイロット

機長と副操縦士の2人1組で航空機を安全に目的地まで操縦します。フライト前に運航管理者と一緒に乗務する客室乗務員と打ち合せ、気象データや乗客数、空港の状態などを確認します。また、航空機の点検をしたり、コックピットに入ってから計器に飛行データを入力したりして安全・快適な飛行に向けて準備をします。飛行中は機長が操縦をし、副操縦士は管制官との通信や機長の補佐を行います。操縦技術を高める為に日頃から訓練を重ねることや体調を管理することも大切な仕事の一部です。

この仕事に就くには？

主に2つの道があります。1つは高校卒業後パイロットの養成機関である「航空大学校」に入学し、2年間訓練を受けた後、航空会社に就職し更に訓練を受けてパイロットになる道。もう1つは大学卒業後航空会社にある「自社養成パイロット」のコースに合格し訓練を経てパイロットになる道です。共に航空機の種類別に行われる国家試験に合格する必要があります。詳しくは国土交通省ホームページ参照 http://www.mlit.go.jp/kokkasiken/pilot01_.html

やりがい

コックピットから見える素晴らしい景色。悪天候やトラブルなど、様々な状況に対して冷静に判断し、乗客を安全に目的地に届けることができた時の達成感。



客室乗務員

客室乗務員の仕事は「機内サービス」と「保安管理」の2つに分けられます。「機内サービス」は、乗客に機内で安心かつ快適に過ごしていただくよう、気を配りながらドリンクの提供などを行います。「保安管理」とは、乗客の安全を守る業務です。緊急時(急病人への応急処置、悪天候時の安全確保、ハイジャックや緊急着陸時の乗客誘導など)には乗客の安全を守るため、迅速かつ適切に対応することが求められます。

この仕事に就くには？

特別な資格は必要ありませんが、各航空会社の採用試験に合格する必要があります。大学卒の採用も多いですが、客室乗務員になるための課程がある短大や専門学校からの採用もあります。採用試験には学歴以外にも、年齢や身体、居住地、TOEICのスコアなど、いくつかの応募要件があるので確認しておきましょう。また、接客のためのコミュニケーション能力も大切です。

やりがい

心を込めてサービスしたお客様から「ありがとう」「また乗るよ」といったお礼や励ましの言葉をもらえると嬉しいです。



Q.空港には他にどんな仕事があるのですか？

A.安全を確保する仕事として、消防士、バードパトロール、警察官、警備員などがあります。また、旅客ターミナルを利用するお客様にサービスを提供するため、飲食店、小売店、レンタカー、両替、総合案内などで様々な職業の人たちが働いています。



航空整備士

航空機を安全に運航させるために、高度に精密化した機体を構成する何万という部品の精度・性能が正しく機能しているかを点検・保守するのが仕事です。各航空会社や航空機メーカーが設けているチェックリストをもとに整備作業を進めていきます。作業には日常のフライトで行う「運航整備」があります。これはフライト前の航空機には必ず行う点検作業で、国家資格を持った航空整備士が最終的にOKを出さない限り、航空機は飛び立つことができません。その他、夜間に行う「定期整備」、一定の飛行時間を超えた航空機を点検する「機体重整備」があります。

この仕事に就くには？

一般的には、大学の理工系学部や航空専門学校、高等専門学校で航空機等に関する技術や知識を学んだ後、航空会社や航空整備を専門とする会社へ就職します。実際に航空整備士として現場で働くには、国家資格に合格する必要があり、入社後、さらなる勉強や訓練を積みなければなりません。

やりがい

乗客の命を預かるという責任感を持って仕事をしています。航空機の進化に合わせて、自分自身も進化し続けなければなりません。常に上を目指して新しいことに挑戦できることがやりがいです。



グランドハンドリング

航空機の到着から出発するまでに必要な、地上での作業全般を指します。航空機の安全で定時の運航を支援するのが使命であり、「航空機地上支援業務」とも呼ばれています。航空機を駐機場まで誘導したり、手荷物・貨物コンテナを移動したり、さらに燃料補給、機内清掃、飲食物の準備なども含まれます。また空港で乗客に接する「旅客ハンドリング業務」や、乗客が預けた荷物を行き先別に仕分けてコンテナに積み込む「貨物ハンドリング業務」が含まれる事もあります。

この仕事に就くには？

高校を卒業後、大学や航空関係の専門学校に進学し知識と技術を身につけて、グランドハンドリングを専門に行う会社に就職します。危険物取扱主任者、大型特殊自動車免許、けん引自動車免許、フォークリフトなどの専門的な作業資格は、社内での訓練を経ながら、一つずつ取得していきます。

やりがい

通常時はもちろん、台風などの悪天候の際に、安全に準備作業を整えて、定刻に出発できると大きな喜びを感じます。